



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和5年6月28日 第4号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : kanai-es@sado.ed.jp

「エルムの森」は「希望の森」

校長 藤井 衛

「おはようございます」

元気のよい子どもたちの声から毎朝のエネルギーをもらっています。国道350号線ぞいであいさつするのが朝のルーティンになっています。最後の登校班が到着すると、一緒に校舎へ戻ります。正面に金北山を望みながら、森を抜けていきます。万緑の中を涼しい風が吹き抜けて心地よいです。

この森は「エルムの森」と呼ばれています。今は「伝統文化と環境福祉の専門学校」になっている場所に、かつて県立佐渡女子高等学校がありました。当時の校長先生が北海道大学を訪れた際、「エルムの森」を見て、佐渡でも育ててみたくなり、エルムの苗木を取り寄せて植えたのだそうです。その後、エルムはすくすくと育ち小さな森になりました。エルムの木の根元に石碑があります。そこには「希望の森」と彫られていました。「エルムの森」と呼ばれていますが、正式には「希望の森」だということが分かりました。

これは、エルムの森の由来がクラーク博士にあるからだと考えました。北海道大学の前身、札幌農学校に勤務していたクラーク博士が学校を離任するさい、クラーク夫人が餞別として残していった苗が育って「エルムの森」になったのだそうです。すくすくと成長するエルムの木とクラーク博士の名言「少年よ大志をいだけ」から連想して「希望の森」とつけたのではないのでしょうか。夢と希望に向かって天高く伸びるエルムの木にあやかって金井小学校の子どもたちも元気に成長してもらいたいです。

ところで、アメリカ大リーグで活躍する野球選手、大谷翔平選手の名言に「人生が夢をつくるのではない、夢が人生をつくるのだ」というのがあります。彼は言葉の通り、子どものころ夢ノートを作りました。そして目標を一つ一つ達成して、今の大活躍があります。金井小学校の子どもたちも、自分の夢や希望をもち、目標に向かってやり抜いてもらいたいと願っています。